

学生への経済的支援の在り方に関する論点（例）

1. 学生の経済的現状分析

（論点例）

- * 貸与学生の家庭の経済状況
- * 学生の生活費（収支バランス）
- * 返還状況
- * 学生の卒業後の就職状況、収入状況
- * 社会人学生の状況分析

2. 経済的支援の在り方（高等教育の漸進的無償化に向けた対応）

（論点例）

- * 学生への経済的支援の意義
- * 高等教育の費用負担の在り方（国として、何に対して、どこまで行うのか）
- * 社会人学生への支援

3. 現行の貸与型支援の在り方について

（論点例）

- * 無利子奨学金と有利子奨学金の関係
- * 適切な貸与規模（貸与と回収の関係）
- * 回収方策（例：返還可能な者と返還困難な者への対応、延滞金の在り方、返還可能な者への強化策 等）
- * 持続的な制度設計

4. 返還者の経済状況に応じた返還方法について

（論点例）

- * 現行の所得連動返済型無利子奨学金の在り方（本制度を本格的かつ奨学金全体に導入した場合の課題等 例：所得データの電子的利用、一定期間経過後の債務免除等）
- * 経済状況に合わせた他の方法（例：経済状況を事由とした免除）

5. 更に手厚い経済的支援について

(論点例)

* 給付的支援の在り方

* 具体の検討に当たって考慮すべき事項

(例) ①経済的要件を考慮した「奨学」か、成績を重視した「育英」か

②事前判断か、事後判断か

③実施体制をどうするか

④その他の給付的支援（授業料免除、TA/RA）との関係

* 支援方法

(例) 給付型奨学金、返還免除 等

6. その他 経済的支援を検討するに当たって、考慮すべき事項

(論点例)

* 大学院生（博士課程：DC等）の経済的支援

* 民間奨学金との関係

* 税制（例：米国型の教育目的貯蓄への税制優遇等）

* 情報提供、金融リテラシー